

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「新興国債オープン（毎月決算型）（愛称 アトラス（毎月決算型）」）は、このたび、第137期の決算を行いました。

当ファンドは、新興国債マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主としてJPモルガン社のG B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国が発行する現地通貨建ての国債または政府機関が発行する債券、およびそれと同等の価値が得られるクレジット・リンク・ノート等に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第137期末(2019年2月12日)	
基準価額	3,681円
純資産総額	6,446百万円
第132期～第137期	
騰落率	6.8%
分配金(税引前)合計	120円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

新興国債オープン (毎月決算型) (愛称 アトラス (毎月決算型))

追加型投信/海外/債券

作成対象期間：2018年8月14日～2019年2月12日

交付運用報告書

第132期 (決算日 2018年 9月12日) 第135期 (決算日 2018年12月12日)

第133期 (決算日 2018年10月12日) 第136期 (決算日 2019年 1月15日)

第134期 (決算日 2018年11月12日) 第137期 (決算日 2019年 2月12日)

 **岡三アセットマネジメント**
〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社クライアント・サービス部へ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00～17:00)

[ホームページ]

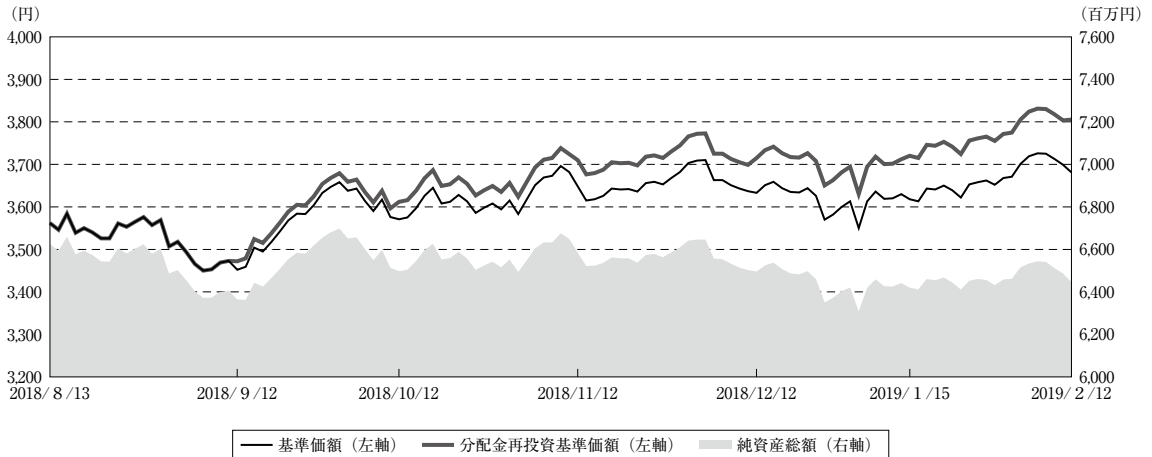
<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様の負担となります。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2018年8月14日～2019年2月12日）



第132期首：3,562円

第137期末：3,681円（既払分配金（税引前）：120円）

騰落率：6.8%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2018年8月13日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「新興国債マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

- ・現地通貨建て新興国債への投資により、安定的な利息収入を獲得したこと。また、ブラジルを筆頭に多くの投資国において、保有債券の利回りが低下し価格が上昇したこと。
- ・トルコリラやブラジルリアルが対円で上昇したこと。

（主なマイナス要因）

- ・ポーランドズロチやペルーソルが対円で下落したこと。

1万口当たりの費用明細

（2018年8月14日～2019年2月12日）

項目	第132期～第137期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 26	% 0.704	(a) 信託報酬 = 作成期間中の平均基準価額 × 信託報酬率
(投信会社)	(12)	(0.336)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(12)	(0.325)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.043)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	3	0.070	(b) その他費用 = 作成期間中のその他費用 ÷ 作成期間中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.032)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他1)	(0)	(0.000)	その他1は、中国の債券取引に係る費用
(その他2)	(1)	(0.032)	その他2は、クレジット・リンク・ノートの発行体に関する年間手数料等
合計	29	0.774	
作成期間中の平均基準価額は、3,623円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

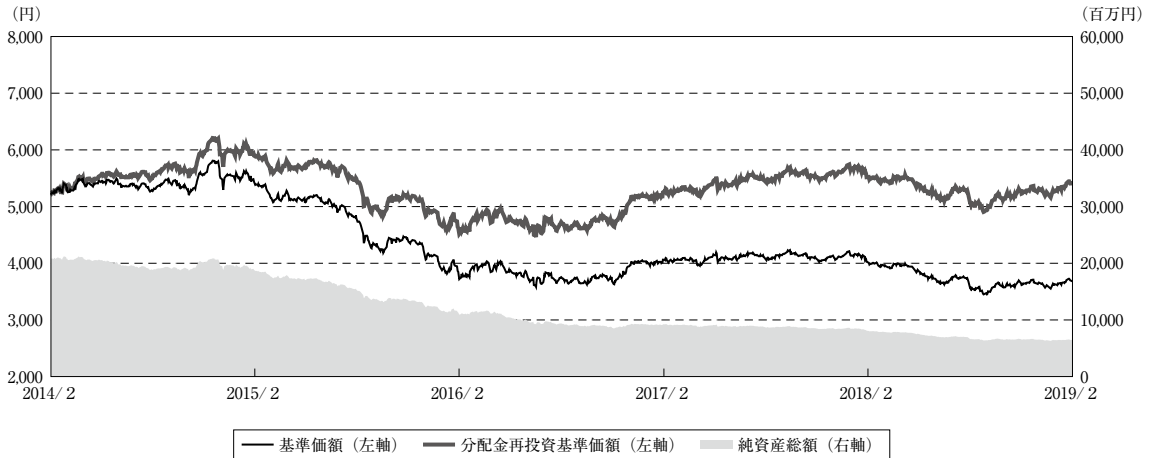
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2014年2月12日～2019年2月12日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2014年2月12日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2014年2月12日 期初	2015年2月12日 決算日	2016年2月12日 決算日	2017年2月13日 決算日	2018年2月13日 決算日	2019年2月12日 決算日
基準価額 (円)	5,245	5,385	3,719	4,060	4,009	3,681
期間分配金合計(税引前) (円)	—	480	480	260	240	240
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	12.2	△23.3	16.8	4.7	△2.0
GBI-EM(ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット)ブロード・ディバーシファイド指数(円ベース)騰落率 (%)	—	15.6	△16.8	13.2	8.2	△2.4
純資産総額 (百万円)	20,832	18,634	10,928	9,210	8,047	6,446

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) GBI-EM(ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット)ブロード・ディバーシファイド指数(円ベース)は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。詳細につきましては、最終ページをご覧ください。

投資環境

（2018年8月14日～2019年2月12日）

<新興国の国債市場>

トルコリラの急落や米国の長期債利回りの上昇を背景に、新興国からの投資資金の流出懸念が高まり、多くの投資国で国債利回りが上昇（価格は下落）してスタートしました。しかし、その後は、米国の長期債利回りが低下に転じたことや、米連邦準備制度理事会（F R B）が利上げに慎重なスタンスに転換したことなどをを受けて、新興国の国債利回りは低下（価格は上昇）基調が続きました。この結果、当作成期間においては、多くの新興国において国債利回りの低下が顕著となりました。

<為替市場>

トルコリラの急落に伴う新興国からの投資資金の流出懸念などを背景に、新興国通貨が対円で下値を切り下げるスタートとなりました。しかし、その後、米中の貿易摩擦への警戒感が徐々に薄らいだことなどから、新興国通貨が対円で戻り歩調に転じました。2018年12月から2019年1月初めにかけては、世界的な株安を背景に投資家のリスク回避の動きが強まり、新興国通貨が対円で急落する場面が見られましたが、F R Bが利上げに慎重なスタンスに転換したことを好感し、その後は新興国通貨が対円で堅調に推移しました。この結果、当作成期間において、投資していた11通貨のうち、トルコリラなど7通貨が対円で上昇する一方、インドルピーなど4通貨が対円で下落しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2018年8月14日～2019年2月12日）

<新興国国債オープン（毎月決算型）（愛称 アトラス（毎月決算型））>

「新興国国債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、同受益証券の組入比率を概ね99%台と高位で推移させました。

○新興国国債マザーファンド

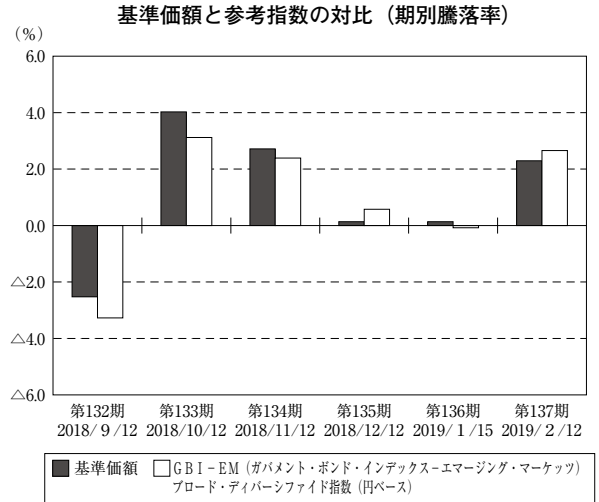
J P モルガン社のG B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国の中から、国債の利回り水準や流動性、国内総生産（G D P）、経常収支、外貨準備、インフレ率などのファンダメンタルズ等を総合的に判断し、投資国及び投資通貨を選定しました。当作成期間においては、11カ国、11通貨（日本及び円は除いていません）に投資を行いました（インドへの投資はクレジット・リンク・ノート（C L N）*を通じて行いました）。当作成期間における新興国の国債及び通貨の組入れは、投資環境に応じて、機動的に変化させました。また、中国国債を新規で組み入れました。作成期末時点の外貨の投資比率は97.1%、投資国上位は、ブラジル、メキシコ、ポーランド、インドネシアとなっています。前作成期末との比較では、中国やマレーシアなどの投資比率が上昇する一方、インドや南アフリカなどの投資比率が低下しました。また、ファンドの金利変動リスクを測る尺度であるデュレーションは、作成期末時点で3.96年となり、前作成期末と比較し長期化となりました。

*クレジット・リンク・ノート（C L N）は、現地通貨建ての新興国国債または新興国の政府機関債にパフォーマンスが概ね連動する債券です。クレジット・リンク・ノート（C L N）は、米ドル建てで発行されていますが、ファンドに与える実質的な影響を考慮し、連動先債券の国および通貨の情報に基づいて前述の分類を行っています。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2018年8月14日～2019年2月12日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、G B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）です。

主要投資対象国の金利と為替

発行国	債券利回り			為替レート		
	2018/8/13	2019/2/12	変化幅	2018/8/13	2019/2/12	変化率
中国	3.49%	3.05%	△0.44%	16.09	16.24	0.9%
インド	7.96%	7.49%	△0.47%	1.62	1.56	△3.7%
インドネシア	7.85%	8.02%	0.17%	0.77	0.79	2.6%
マレーシア	4.06%	3.96%	△0.10%	27.02	27.11	0.3%
ポーランド	2.55%	2.23%	△0.32%	29.31	28.82	△1.7%
ロシア	8.08%	8.00%	△0.08%	1.61	1.68	4.3%
トルコ	22.29%	15.23%	△7.06%	16.11	20.96	30.1%
ブラジル	10.03%	7.97%	△2.06%	28.61	29.43	2.9%
メキシコ	7.79%	8.53%	0.74%	5.77	5.73	△0.7%
ペルー	5.49%	5.60%	0.11%	33.71	33.16	△1.6%
南アフリカ	9.43%	9.53%	0.10%	7.73	8.02	3.8%

各国の債券利回りは、「GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマーゼンゲ・マーケット）ブロード・ディバースィファイド指数」の情報に基づくため、償還年限は国ごとに異なります。また、ファンドが実際に投資している債券の利回りとは異なります。なお、各利回りとも該当日の前営業日のデータを使用しています。

為替レートは対顧客電信売相場の当日（東京）の仲値です。インドネシアに関しては、100倍して表示しています。

「新興国債マザーファンド」の投資対象国別組入比率

	2018/8/13	2019/2/12	変化幅
中国	—	4.7%	4.7%
インド	10.4%	5.3%	△5.1%
インドネシア	11.2%	12.2%	1.0%
マレーシア	3.5%	7.1%	3.6%
ポーランド	10.6%	12.2%	1.6%
ロシア	4.0%	7.2%	3.2%
トルコ	2.6%	4.4%	1.8%
ブラジル	11.4%	14.5%	3.1%
メキシコ	10.6%	13.3%	2.7%
ペルー	7.8%	7.7%	△0.1%
南アフリカ	10.3%	7.1%	△3.2%

比率は、「新興国債マザーファンド」の純資産総額に対する率です。クレジット・リンク・ノート（CLN）を組み入れている場合は、実質的に投資している国の比率として表示しています。

分配金

（2018年8月14日～2019年2月12日）

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額としております。当作成期間におきましては、毎期1万口当たり20円（税引前）、合計120円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
	2018年8月14日～ 2018年9月12日	2018年9月13日～ 2018年10月12日	2018年10月13日～ 2018年11月12日	2018年11月13日～ 2018年12月12日	2018年12月13日～ 2019年1月15日	2019年1月16日～ 2019年2月12日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
（対基準価額比率）	0.576%	0.557%	0.545%	0.547%	0.550%	0.540%
当期の収益	10	14	14	11	20	20
当期の収益以外	9	5	5	8	－	－
翌期繰越分配対象額	189	184	179	170	184	185

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（投資環境の見通し）

先進国の国債市場では、グローバル経済の減速が鮮明となる中、米国を筆頭に主要先進国の中央銀行が金融引き締めを慎重なスタンスに転換しつつあることから、引き続き利回り上昇が抑制される展開を想定しています。このことは、新興国からの投資資金の流出懸念緩和につながり、新興国の国債市場にとってはプラス材料と考えています。また、インドが約1年半ぶりに利下げに踏み切るなど、一部の新興国においては、インフレ懸念の後退や通貨の安定を背景に、金融緩和観測が台頭しつつあり、利回りの低下余地が残されていると見ています。

為替市場では、主要先進国の中央銀行による金融引き締め姿勢の軟化を受けて、相対的に高い利回りを求める投資資金の流入が期待されることから、総じて底堅い動きになると見ています。また、多くの新興国通貨は、2018年9月にかけての対ドルや対円での大幅下落により、長期的な割安感が意識され始めていることも、下支え要因として働くと予想しています。一方、グローバル経済の減速局面が長期化する、または減速基調が一段と強まる場合には、投資家のリスク回避の動きを背景に新興国通貨の対円での下落リスクが高まる可能性があるため、引き続きグローバル経済の動向に留意する必要があると考えています。

（運用方針）

<新興国国債オープン（毎月決算型）（愛称 アトラス（毎月決算型））>

主要投資対象である「新興国国債マザーファンド」の受益証券の組入比率は概ね99%台の高位を維持する方針です。ただし、追加設定・解約の動向等によっては組入比率が高位にならない場合があります。

○新興国国債マザーファンド

新興国の国債及び通貨の組入れを高位に維持することを基本とします。ただ、市況動向によっては、ポートフォリオの一部を先進国の国債（米国、ドイツ、日本）や円のコール・ローン等へシフトする場合があります。また、投資環境の変化に応じてファンド全体の金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスクのコントロールを図る方針ですが、投資環境の急変が起きた場合には、委託会社の判断により為替ヘッジを行うことがあります。

お知らせ

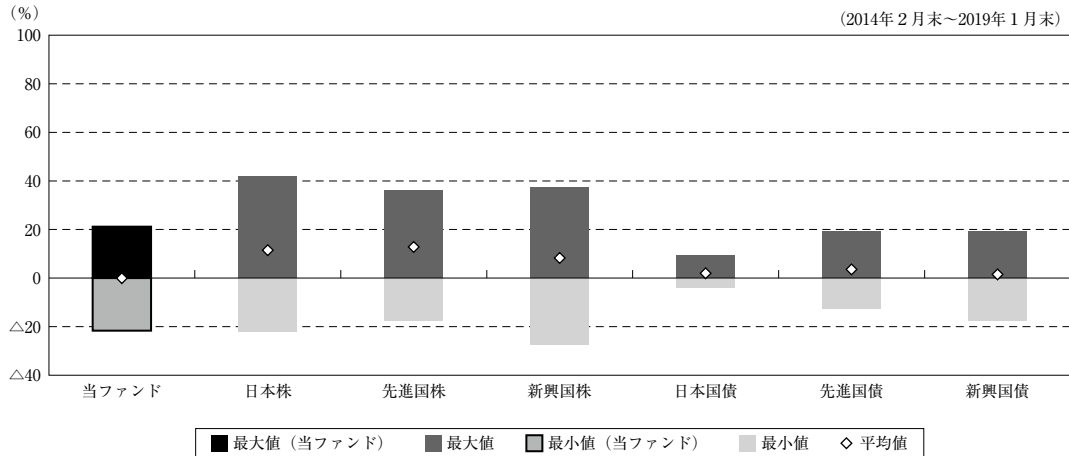
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2007年8月30日から、原則として無期限です。	
運用方針	新興国国債マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券への投資を通じて、主としてJPモルガン社のGBI-E M（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国が発行する現地通貨建ての国債または政府機関が発行する債券、およびそれと同等の価値が得られるクレジット・リンク・ノート等（以下、「新興国の国債等」といいます。）に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、投資環境の急変が起きた場合等には、委託会社の判断により為替ヘッジを行うことがあります。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	新興国国債マザーファンド	新興国の国債等を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、ファミリーファンド方式で運用を行います。
	新興国国債マザーファンド	投資にあたっては、JPモルガン社のGBI-E M（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国の中から、利回り水準や流動性等を考慮して選定した新興国の国債等に、ポートフォリオの70%程度を投資します。（ステップ①）次に、ポートフォリオの30%程度を、GDP、経常収支、外貨準備高等から総合的に判断して、ファンダメンタルズが良好であり、あるいはファンダメンタルズの改善が見込めることなどから、通貨価値の上昇が見込まれる新興国の国債等に投資します。なお、この場合に、ステップ①で投資した新興国の国債等に重複して投資する場合があります。（ステップ②）
分配方針	毎月12日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。収益分配は、主として配当等収益等から行います。ただし、1月、4月、7月、10月の決算時の分配方針は、それぞれの決算日に売買益（評価益を含みます。）等が存在するときは、配当等収益に売買益（評価益を含みます。）等を加えた額を分配対象収益として収益分配を行います。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：％）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	21.2	41.9	36.2	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△21.7	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4
平均値	△0.1	11.5	12.8	8.3	2.0	3.6	1.5

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

（注）2014年2月から2019年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2019年2月12日現在)

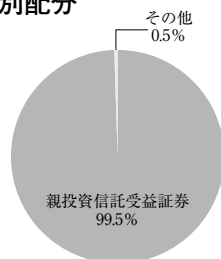
○組入上位ファンド

銘柄名	第137期末
新興国債マザーファンド	99.5%
組入銘柄数	1銘柄

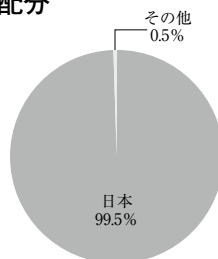
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

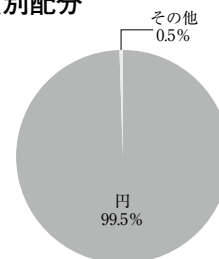
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

純資産等

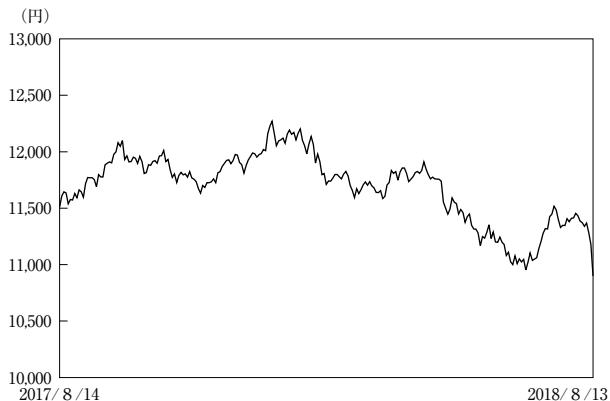
項目	第132期末	第133期末	第134期末	第135期末	第136期末	第137期末
	2018年9月12日	2018年10月12日	2018年11月12日	2018年12月12日	2019年1月15日	2019年2月12日
純資産総額	6,364,006,016円	6,497,694,658円	6,583,972,250円	6,496,079,471円	6,419,625,077円	6,446,066,384円
受益権総口数	18,437,539,933口	18,197,874,612口	18,047,411,885口	17,879,762,371口	17,744,541,297口	17,513,387,027口
1万口当たり基準価額	3,452円	3,571円	3,648円	3,633円	3,618円	3,681円

(注) 当作成期間（第132期～第137期）中における追加設定元本額は42,777,382円、同解約元本額は1,127,813,436円です。

組入上位ファンドの概要

新興国国債マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2017年8月15日～2018年8月13日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) その他費用 (保管費用)	19 (7)	0.164 (0.063)
(その他)	(12)	(0.101)
合計	19	0.164
期中の平均基準価額は、11,688円です。		

- (注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

（2018年8月13日現在）

	銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	CS INT(INRCLN) 8.4 2407A	普通社債券	米ドル	イギリス	10.4
2	REPUBLIC OF PERU 7.84	国債証券	ペルーソル	ペルー	7.8
3	POLAND GOVT BOND 5.75	国債証券	ポーランドズロチ	ポーランド	6.7
4	REP SOUTH AFRICA 10.5	国債証券	南アフリカランド	南アフリカ	6.4
5	MEXICAN BONOS 10	国債証券	メキシコペソ	メキシコ	6.1
6	INDONESIA GOV'T 11	国債証券	インドネシアルピア	インドネシア	5.9
7	BRAZIL NTN-F 10	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	4.4
8	POLAND GOVT BOND 5.5	国債証券	ポーランドズロチ	ポーランド	3.9
9	REP SOUTH AFRICA 8	国債証券	南アフリカランド	南アフリカ	3.8
10	MALAYSIA GOVT 5.734	国債証券	マレーシアリンギット	マレーシア	3.5
組入銘柄数		24銘柄			

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

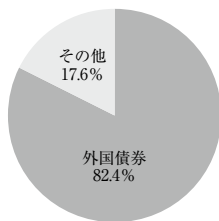
(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国を表示しております。クレジット・リンク・ノートは発行体の所在地で表示しております。

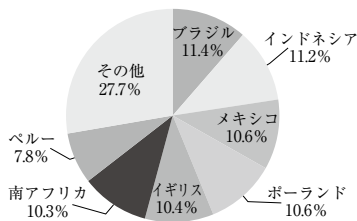
(注) 米ドル建ての債券は、全て現地通貨建ての新興国国債にパフォーマンスが概ね連動するクレジット・リンク・ノートです。銘柄名に（INRCLN）とあるのはインドの現地通貨建ての国債に連動する債券です。

(注) クレジット・リンク・ノートは、連動先債券の信用リスクに加え、発行体である金融機関の信用リスクも負っています。当期末現在の発行体は、Credit Suisse Internationalです。

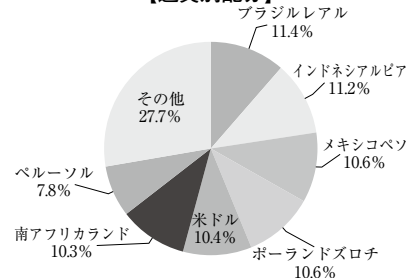
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。クレジット・リンク・ノートは発行体の所在地で表示しております。

(注) 通貨別配分につきましては、組入債券の通貨別比率を表示しております。クレジット・リンク・ノートにつきましては、米ドル建てで発行されているためドルで表示しております。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書（全体版）をご覧ください。

＜当ファンドの参考指数について＞

G B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）は、J.P. Morgan Securities Inc.が公表している新興国の債券のパフォーマンスを表す指数です。同指数は、J.P. Morgan Securities Inc.が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数で、2003年1月1日より算出されております。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。